

第5節 農業振興

1. 農業振興関係

全域が市街化区域となっている市内の農業者も、毎年農家の数戸が他に転業して行く中で、まだ自給自食を心掛けている農家も見受けられ、これらの農業者との調査連絡や経営指導にあたるとともに、農作物及び緑樹の害虫駆除消毒や家畜類の各種予防注射を実施した。また、緑化を進めるために昭和47年度から出生児に対し、市の木(もくせい)の配付と公共施設に対しての植樹や市民からの不用樹木の無償譲り受けも実施した。

(1) 農耕地、農家戸数調査

農 耕 地 調 査		農 家 数 調 査	
区 分	地 積 a	区 分 a	戸 数
田 煙	8,161	30 以 下	210
樹 園 地	585	31 ~ 50	68
茶 園	189	51 ~ 100	59
桑 園	655	100 以 上	9
計	9,590	計	346

(2) 経営者等調査

区 分	頭 羽 数	戸 数
ソ 菜 経 営 者	—	8
養 蚕 経 営 者	—	10
植 木 生 産 経 営 者	—	40
乳 牛 飼 育 者	65頭	9
養 豚 飼 育 者	53頭	25
養 鶏 飼 育 者	600羽	24

(3) 緑化推進関係

区分	内訳	本数
出生記念樹配付 47.4～48.3	690人	690
公共施設等植樹	もくせい トウカエデ つつじ	60 50 150
不用樹木の譲り受け	センダニ 月桂樹 その他	101 7 15

(4) アメリカシロヒトリ防除実績

区分	内訳	備考
防除期間	6月～9月	4ヶ月間
" 本数	155,500本	サクラ・プラタナス他
" 薬剤	187ℓ	DEP・DDVP
" 人員	(延) 400人	

(5) 農業共済事務

広域行政をはかるため、青梅市他8市町村により西多摩農業共済事務組合を設立する準備をはじめると共に、当市においては、福生市農業共済組合から移管事務を進めるため、昭和47年7月より接渉を重ね、昭和48年2月1日付をもつて福生市農業共済組合から移管され、2月の臨時議会において承認され、東京都知事にその旨申請し、昭和48年4月1日付で西多摩農業共済事務組合の設立を見る。